

財政状況資料②

【町内小中学校校舎に係る工事費等(30年間概算)】

(町負担(30年間):歳出-歳入)

ケース	必要な工事費	町負担(30年間)
①統合しない場合(5中6小)【改修】	92億円	61億5,000万円
②統合した場合(3中5小)【改修】	62億1,000万円	24億3,000万円
③統合した場合(1中5小)【改修】	49億2,000万円	9億6,500万円
④統合した場合(1中5小)【新築】	67億2,000万円	18億6,500万円

【ケースごと年度ごとの仮計算】

※ 新築費、長寿命改修費(工事費)は、地方債を借入れ、30年間に均等に元利償還すると仮定して計上、国庫補助金は仮に30年間に均等に配分して計上、令和6年度以降省略

①統合しない場合(5中6小)【改修】 (必要な工事費 92億円 30年間の町負担 61億5,000万円)

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
歳出	長寿命化改修費			3億700万円	3億700万円
歳入	国庫補助金(工事)			1億200万円	1億200万円
町負担(歳出-歳入)				2億500万円	2億500万円

②統合した場合(3中5小)【改修】 (必要な工事費 62億1,000万円 30年間の町負担 24億3,000万円)

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
歳出	長寿命化改修費			2億700万円	2億700万円
	スクールバス購入(6台)		3,800万円		
	スクールバス運行費			1,100万円	1,100万円
	統合により縮減できる維持管理費(小1校、中2校分)			△5,500万円	△5,500万円
歳入	国庫補助金(工事)			8,200万円	8,200万円
	国庫補助金(バス購入)		1,900万円		
町負担(歳出-歳入)			1,900万円	8,100万円	8,100万円

③統合した場合（1中5小）【改修】（必要な工事費 49億2,000万円 30年間の町負担 9億6,500万円）

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
歳出	長寿命化改修費			1億6,400万円	1億6,400万円
	スクールバス購入(10台)		6,300万円		
	スクールバス運行費			1,800万円	1,800万円
	海上観光船定期代			1,200万円	1,200万円
	統合により縮減できる維持管理費(小1校、中4校分)			△9,200万円	△9,200万円
歳入	国庫補助金(工事)			6,800万円	6,800万円
	国庫補助金(バス購入)		3,200万円		
	国庫補助金(通学費)			600万円	600万円
町負担(歳出－歳入)			3,100万円	2,800万円	2,800万円

④統合した場合（1中5小）【新築】（必要な工事費 67億2,000万円 30年間の町負担 18億6,500万円）

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
歳出	新築費【中学校】			1億円	1億円
	長寿命化改修費			1億2,400万円	1億2,400万円
	スクールバス購入(10台)		6,300万円		
	スクールバス運行費			1,800万円	1,800万円
	海上観光船定期代			1,200万円	1,200万円
	統合により縮減できる維持管理費(小1校、中4校分)			△9,200万円	△9,200万円
歳入	国庫補助金(工事)			9,800万円	9,800万円
	国庫補助金(バス購入)		3,200万円		
	国庫補助金(通学費)			600万円	600万円
町負担(歳出－歳入)			3,100万円	5,800万円	5,800万円

【試算条件】

※1 建築単価は、新築390,000円/㎡、長寿命化改修234,000円/㎡（新築費の60%）で試算（南知多町学校施設長寿命化計画使用単価）。建築単価の年度による増減は加味していない。

※2 新築校舎、屋内運動場必要面積は「学校建物国庫補助基準 公立学校建物基準（中学校）により算定した。

※3 長寿命化改修の主な内容は、屋上防水、トイレ改修、外壁改修、内装改修、劣化の著しい部位の修繕など

※4 既設中学校敷地で新築する場合は、解体費、仮設校舎設置及び移転費用が必要

※5 国庫補助金補助率：統合校舎新築1/2、統合に伴う既存校舎改修1/2、長寿命化改修1/3
バス購入費1/2、通学費（5年間）1/2

※6 統合により縮減できる維持管理費 小学校1校 1,700万円、中学校1校1,800万円